

図書館に手作りのしおりを寄贈

茄子の会

町内の文化団体で作る茄子の会(中村孝幸代表)が菊陽町図書館を訪れ、しおり780点を寄贈しました。しおりは、会員が心をこめて手作りした切り絵と押し花を使って制作されたものです。中村代表は「図書館のお客さんに喜んでもらうことを楽しみに毎年制作しています。今後も継続していきたいです」と話しました。寄贈されたしおりは、全国読書週間(10月27日~11月9日)にあわせて、同館で本を借りた人に全てプレゼントされました。



▲心のこもったしおりを寄贈する茄子の会会員

元気よくにんじんの里を駆け抜ける

第27回菊陽町にんじんの里マラソン大会

第27回菊陽町にんじんの里マラソン大会が11月3日、菊陽杉並木公園とその周辺をコースとして行われました。今大会には町内外から約650人の参加がありました。参加者は、2km・5km・10kmの3種目に分かれて菊陽杉並木公園をスタート。小学生から大人までさまざまな年齢層が自慢の健脚を競い合いました。

大会当日は、悪天候でのスタートとなりましたが、参加者は沿道からの声援を力に変えて、ゴールまで一生懸命走り抜けていきました。



▲一斉にスタートする参加者たち

読み語りの旅でい！菊陽の宿

絵本作家・飯野和好さんの講演会

「ねぎぼうずのあさたろう」などの絵本作家・飯野和好さんの講演会「おっと痛快！読み語りの旅でい菊陽の宿」が10月19日、菊陽町図書館ホールで開催されました。これは菊陽町図書館開館10周年記念で実施されたものです。旅姿で登場した飯野さんは絵本3作品をカンカラ三線などを演奏しながら浪曲風に読み語り、多くの観客を沸かせました。講演終了後のサイン会は多くの人々が並び、飯野さんは一人一人とゆっくり会話をしながら笑顔でサインに応じていました。



▲唄や踊りを交えて楽しい読み語りをする飯野さん

伸びた草を丁寧に刈り取り町をきれいに

菊陽町造園業協会によるボランティア清掃活動

菊陽町造園業協会(小川誠会長)の会員17人が10月19日、久保田と津久礼地区内で草刈りなどの清掃活動を行いました。

同協会によるボランティア作業は平成24年度から行われています。2年目となる今年度は高校駅伝のコースでもある町道川久保下津久礼線で清掃作業をしました。

秋風の吹く中、約3時間の清掃作業をし、道路が見違えるように美しくなりました。



▲清掃活動に汗を流した菊陽町造園業協会の会員

生垣剪定をとおし地元住民と学生が交流

第32回鉄砲小路生垣剪定作業

第32回鉄砲小路生垣剪定作業が11月9日、鉄砲小路区で行われ、東海大学学生35人が東海大学長野克也教授と地元住民の指導を受けながら約4kmにわたり生垣の剪定作業をしました。

この作業は、昭和57年から続く、鉄砲小路区住民と東海大学農学部の「緑の会」との交流事業です。作業後には、地元婦人会の手作りのだご汁やおにぎりなどが振る舞われ、地元の皆さんと学生たちが交流を深めました。



▲生垣剪定する東海大学学生

▲地元住民と交流

人権擁護活動の功績をたたえて

人権擁護委員に法務大臣表彰

人権擁護委員に対する法務大臣表彰が10月21日、東京で行われ、本町の江藤由紀子さん(出身)が受賞しました。これは長年にわたり地域の中で人権思想の普及・高揚に努めるなど人権擁護活動に尽くした功績に対して表彰されるものです。人権擁護委員は国民の基本的な人権が侵害されないよう監視し、侵害された場合は救済に努めることを使命に地域に密着した活動を行っています。江藤さんは「皆さんの支えがあったからこそこの受賞だと思っています」と話しました。



▲表彰された人権擁護委員の江藤由紀子さん

本の世界で得た感動を表現

第24回菊陽町読書感想画コンクール

菊陽町読書感想画コンクールも24回目を迎え、今年度は約4,000点の作品の中から、審査の結果、30点の特選作品が選ばれました。作品は町内の小・中学校8校の児童生徒が夏休みの課題や授業で制作しており、どの作品も見るだけで本の内容が思い起こされるほど生き生きと描かれていました。

▼受賞者一覧(敬称略)

学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名
小1	阿南 昌景	菊陽北小学校	小4	古庄 捺菜	武蔵ヶ丘北小学校	中1	森田 和奈	菊陽中学校
	鹿子木 翔	菊陽北小学校		小林 春太	菊陽西小学校		麻生 晃平	武蔵ヶ丘中学校
	山本 夏野	菊陽西小学校		渡邊 拓	菊陽西小学校		鹿野 凌平	武蔵ヶ丘中学校
	村上 葵	武蔵ヶ丘北小学校		藤本恵理子	武蔵ヶ丘北小学校		秋月 蓮	菊陽中学校
小2	椎屋 匠真	菊陽中部小学校	小5	花田 百華	菊陽中部小学校	中2	ありうち 和来	武蔵ヶ丘中学校
	藤本 颯太	菊陽中部小学校		荒川 理央	菊陽南小学校		いらいり 充佳	武蔵ヶ丘中学校
	中村 光希	菊陽西小学校		あかざき 柊	菊陽西小学校		さかい 千明	菊陽中学校
小3	柴田 優人	武蔵ヶ丘北小学校	小6	赤崎 遥	菊陽中部小学校	中3	酒井 千明	菊陽中学校
	田上 世菜	菊陽中部小学校		矢野 遥	武蔵ヶ丘小学校		ふらわき 萌乃	菊陽中学校
	藤森 奈那	菊陽中部小学校		田中 蓮照	武蔵ヶ丘小学校		かみで 隼司	武蔵ヶ丘中学校
				村上 梨梨	武蔵ヶ丘小学校		もりた まゆな	武蔵ヶ丘中学校



▲藤本恵理子(武蔵ヶ丘北小4年) 書名「コッケモーモー！」 絵の題名「とりのあいさつ」「コッケココー」

▲上出 隼司(武蔵ヶ丘中3年) 書名「零戦 その誕生と栄光の記録」 絵の題名「飛びゆく零戦」

昔から大切に継承！3町村の無形文化財

益城町の津森神宮の祭り「お法使祭」

益城町の津森神宮の祭り「お法使祭」でご神体が11月2日、西原村河原区から菊陽町戸次区へ受け渡され、8年ぶりに菊陽町にやってきました。これは益城町や西原村、菊陽町の12地区を1年ごとに持ち回る祭りで、当番区は御仮屋(仮の住まい)を建てて一年間ご神体を安置。翌年、次の区へ「受け取り渡し」を行います。その時ご神体をみこしに安置し、道や田畑に投げ落として荒っぽく扱うことで有名な祭りです。来年から馬場桶区、曲手区、辛川区へと順次受け渡されます。



▲道楽をする戸次区の人たち ▲田畑へ投げ落とされたみこし

火災に備えて真剣に訓練

菊陽町消防団による非常呼集訓練

菊陽町消防団による非常呼集訓練が11月10日、午前7時から大野慶一郎団長の指揮の下、菊陽町消防団各分団の火災想定箇所で開催されました。

この訓練は、火災が発生しやすい季節を迎え、火災発生初期段階で団員自らが正しい情報のもと適切な行動が取れることを目的に毎年訓練を実施しています。早朝からの訓練実施でしたが、団員は実際の火災時と変わらない真剣な表情で訓練に参加していました。町民の皆さんのご協力ありがとうございました。



▲本番さながらの放水を行う消防団員

2日間で約700人が来場

第24回働く婦人の家講座発表会

第24回働く婦人の家講座発表会が、10月26・27日、三里木町民センターで開催されました。

展示発表の部では習字や手工芸など素晴らしい作品が会場いっぱいにならされました。また、体験コーナーでは楽しく作品を作ることができ好評でした。ステージ発表の部では、ダンスや英会話などが披露され、日頃の学習や練習の成果を発表しました。

2日間で約700人の来場者があり、子どもから大人まで大勢の人でにぎわいました。



▲学んだ英会話で「はだかの王様」を発表する講师生

清掃で町の発展に貢献

菊陽町シルバー人材センター「ボランティア清掃」

シルバー人材センター会員と職員97人が10月19日、役場周辺道路で清掃活動を行いました。これは、シルバー事業の社会的意義の周知と町の発展への貢献を目的に毎年活動を行っています。道路や植え込みにあるごみや空き缶を拾い集めて道路をきれいにし、菊陽中学校のプール横の植木剪定を行い、子どもたちが少しでも勉学に励めるような環境をつくりました。参加した会員は「道路がきれいになり、うれしいです。次回もぜひ参加したい」と話しました。



▲ごみを拾い集め道路をきれいにするシルバー会員の皆さん

大切な命のために

動物愛護推進活動

県獣医師会大津支部と県動物愛護推進委員による「動物愛護推進活動」が11月9日、すぎなみフェスタ内で行われました。

会場にはペットの飼育・しつけ・病気に関する相談窓口やアクリル板に好きな文字や絵を書いて作る迷子札の作成コーナー、その他動物に関するさまざまな展示物が設けられました。多くの人に動物の愛護と適正な飼育についての理解と関心を深めていただく機会となりました。



▲ペット相談コーナー ▲手作り迷子札作成コーナー

武蔵ヶ丘中2年選抜チームが堂々3位!

第1回科学の甲子園ジュニア全国大会熊本県代表選考会

第1回科学の甲子園ジュニア全国大会熊本県代表選考会が11月2日、熊本市で開催されました。校内選考を突破した安楽健人さん、林田京華さん、木崎愛さん、松本凌太郎さん、野上貴絵さん、堀内大輝さんが県内12校参加の中、見事3位になりました。筆記では、理科・数学分野と新しい情報を統合した問題に6人1チームで挑戦。実技では理科・数学分野それぞれに3人1チームで仮説を立てて検証したり、道具を使い答えを導き出したりする問題に取り組みました。



▲学校で特訓する生徒たち ▲知恵を出し合い、見事3位に

プロの演奏家がやってきた!

菊陽町図書館ホールのアウトリーチ事業

菊陽町図書館ホールがプロの演奏家を小学校に派遣し、音楽の授業でコンサートを実施する「アウトリーチ事業」が10月7日から町内の小学校10クラスで実施されました。これは、(公財)熊本県立劇場の「演奏家派遣アウトリーチ事業」の補助を受けて実施されたものです。

菊陽町図書館ホールでは、未来の菊陽町を担う子どもたちに、少しでも多くの一流芸術音楽に触れることで豊かな心を育むきっかけにしたいと、2年前からアウトリーチ事業に取り組んでいます。

今回は、3人のプロの演奏家(ソプラノ歌手、コントラバス奏者、クラリネット奏者)がそれぞれ小学校を訪れました。音楽室で実施されたコンサートでは、なかなか見る機会の少ないプロの演奏家の音楽を間近にし、子どもたちは真剣に聴き入っていました。また、楽器体験コーナーでは、初めて触る楽器に興味津々の様子。ダンスや全員合唱、音が出る仕組みの説明などもあり、多彩な音楽満載の授業に子どもたちはとても満足そうでした。



▲マウスピースを鳴らせようと頑張る子どもたち



▲コントラバスに触り驚いた表情の子どもたち